

# 保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

7/10

## メディカル英語 No.10

### 医学英語の総仕上げ —— 論文・ガイドライン・症例報告・患者文書を横断する

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。医学英語を「種類ごとにバラバラに勉強した」受験生と、論文・ガイドライン・症例報告・患者文書に共通する読解の軸を持ち横断的に処理できる受験生の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきた。

#### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

##### ① 医学英語の横断的読解問題

慶應義塾大学医学部・東京科学大学の英語では、複数の文書形式（論文の一部・症例報告・患者向け説明文書）を同一問題で扱う問題が出題される。各文書形式の構造を横断的に知る受験生は、文書の切り替わりを即座に判断して処理できる。

##### ② 複数の文書形式を比較する問題

「この研究論文の要旨と患者向け説明文書は同じ内容をどう言い換えているか」という比較問題は、医学部推薦入試で出題される。横断的な読解力を持つ受験生は即座に対応できる。

##### ③ 医学部推薦の総合英語課題

複数の医学英文書を事前課題として読む形式の推薦入試では、面接で「この4種類の文書はそれぞれ誰に向けた何の目的の文書か」という問いが出される。横断的な知識を持つ受験生は他の受験生と明確に異なる準備ができる。

#### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
慶應義塾大学 医学部	複数の医学英文書を扱う読解問題	横断的知識が文書切り替えの即座の判断を可能にする
東京科学大学	医学英語の総合読解問題	各文書形式の構造知識が処理速度と精度を同時に高める
関西医科大学・近畿大学 医学部	医学英語の総合的な読解・設問処理	横断的読解力が総合問題での得点力を高める
医学部推薦・総合型選抜（全般）	複数の文書形式を前提とした口頭試問	各文書の目的と読者を即答できる受験生として際立つ

#### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

医学英語を「種類ごとに個別に勉強した」だけの受験生は、複数の文書形式が組み合わさる問題で混乱する。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）論文・ガイドライン・症例報告・患者文書を横断的に読める、（2）複数の文書形式が混在する問題でも即座に判断できる、（3）医学部推薦の総合英語課題と面接で「横断的な医学英語力がある受験生」として際立つ、という変化が起きる。

何十年も医学部の英語答案を採点してきた清光学院の講師陣は、医学英語総合問題で「種類ごとバラバラの答案」と「横断的に処理できる答案」の評価の差を採点者として知っている。